

有明海沿岸道路 筑後川・早津江川橋梁の推奨橋種について

有明海沿岸道路筑後川・早津江川橋梁設計検討委員会
国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
佐賀国道事務所

福岡国道事務所、佐賀国道事務所では、有明海沿岸道路に計画されている筑後川及び早津江川の橋梁について、歴史的・文化的資産が点在する周辺環境や軟弱な地盤条件を考慮した橋梁形式や設計施工の方針等について助言を頂くため、本委員会を平成23年9月29日に設置しました。

本日まで、4回の委員会と延べ4回の分科会（景観分科会、地盤・構造分科会）を経て、委員会として推奨する橋梁を決定したところです。

【比較評価の結果】

1月に発表した中間報告までに、3種類の橋梁形式で5つの組み合わせ案に絞り込みを行っており、特に有力と考えられた鋼アーチ橋と鋼斜張橋に注目して経済性、構造的性、施工性、景観性の観点から総合的に比較評価を行った結果、両橋梁とも「鋼アーチ橋」（鋼中路ローゼ橋）を推奨橋種とすることを決定しました。

2つのアーチ橋が「筑後川・早津江川の歴史・文化に映える未来への架け橋」として地域の方々に愛され、魅力ある地域づくりに役立つよう期待するものです。

（評価の概要）

- ・ 景観性：水平基調で緩やかな曲線のアーチが広々とした周辺景観に調和する、デ・レーケ導流堤上の橋脚高を低くでき圧迫感が軽減される、等の理由から鋼アーチ橋が優れる
- ・ 経済性：建設費・維持管理費を算定した結果、斜張橋がやや優位
- ・ 構造的性：圧密沈下や地震時の慣性力の影響等で鋼アーチ橋がやや優位
- ・ 施工性：いずれも確立した技術で建設可能だが、鋼アーチ橋の方がより技術的難度は低く、架設時の航路利用に対する影響も小さくできる

【今後の検討に向けて】

当委員会は、橋梁設計を進める段階においても専門的助言を行うものとしていますが、本日の会議に際し、以下を設計作業における留意事項として提示しています。

- ・ 景観に関する事項：ディテールデザイン、色彩等
- ・ 地盤・構造に関する事項：慎重な地質調査・試験、耐風設計等
- ・ デ・レーケ導流堤への影響軽減

筑後川・早津江川の歴史・文化に映える未来への架け橋



筑後川橋梁【鋼アーチ橋】近景



早津江川橋梁【鋼アーチ橋】近景

筑後川橋梁【鋼アーチ橋】近景



早津江川橋梁【鋼アーチ橋】近景

